平成29 年1月17日

研修報告書（専攻医研修）

氏名：松村　美咲

所属：鳥取大学医学部付属病院　遺伝子診療科

研修期間：平成28年11月7日　～　平成28年11月13日

研修場所：札幌医科大学医学部　遺伝医学

研修内容：

11月7日　午前　オリエンテーション。午後　小児神経病棟見学。

11月8日　午前　講義（がんゲノム研究）。

午後　次世代シークエンサーの実習・見学、講義（遺伝性消化器腫瘍）。

11月9日　午前　講義（遺伝医学）、症例検討会。

午後　北海道大学遺伝診療部　NIPT外来見学。

　　　　　 夕方　講演会（遺伝性腎がん症候群）。

11月10日　午前　小児遺伝外来見学。　午後　皮膚科遺伝外来見学。

11月11日　終日　臨床遺伝外来見学、講義（卵巣がん、乳がん）。

11月12日　遺伝カウンセリングロールプレイ研修会、第19回北海道出生前診断研究会。

研修成果：

当大学ではあまり経験できない、次世代シークエンサーを使用しての悪性腫瘍の遺伝子解析により効果のある抗がん剤を検索する機序や、札幌医科大学の小児科神経分野、消化器内科、皮膚科を含めた、各科の専門性と遺伝医学の知識を兼ね備えた医師が連携して家族性腫瘍症候群に対しての包括的な治療、支援を実際に行っている様子を目の当たりにし、正確な情報と、連携と意思疎通の大切さを学んだ。

また、北海道大学遺伝子診療部のNIPT外来の見学では、産婦人科医による遺伝カウンセリングを見学し、遺伝学的検査だけが患者さんの不安を取り去るのではないことを改めて感じた。

遺伝カウンセリングロールプレイ研修会では、実際自分で遺伝カウンセリングを行うことでどのようなことに躓くかを実感し、その後の北海道出生前研究会では北海道という広大な地域での出生前診断の現状と今後の課題について学んだ。

その他（感想・要望・反省点、等）：

　遺伝子医療の歴史から発展、実際の遺伝子検査の手技とデータ解析、様々な科の遺伝外来、遺伝カウンセリングから結果告知についての実地研修、遺伝カウンセリングのロールプレイを、手厚い指導を受けながら研修させていただいたことで、遺伝子医療の全体的な流れを体感することができた。

　私の所属している鳥取大学医学部附属病院　遺伝子診療科では、小児の遺伝子疾患の割合が高いが、家族性腫瘍をはじめとした成人の疾患について学ぶ機会と、産婦人科医によるNIPT外来の見学をさせていただいたことは、今後遺伝子医療に携わっていくなかで指針となる。

　当方の事情で一週間という短期間で研修をお願いしたため、大変濃密な研修をさせていただいたが、札幌医科大学をはじめとした先生方に、ご多忙の中スケジュールをあわせていただくこととなり、多大なご迷惑をおかけしてしまったことが反省する点である。